

(公財) 日本武道館御中

日本・オーストリア友好 150 周年記念事業 (令和元年度オーストリア派遣日本武道代表团)

空手道団報告書

この度、日本・オーストリア友好 150 周年記念事業 (令和元年度オーストリア派遣日本武道代表团) の空手道代表团として武道演武会に参加させていただき、オーストリア共和国ウィーン各所で空手道の演武をさせていただきましたことは、誠に光栄であり有意義なことでありました。報告書の作成にあたり、我々6名 (渡邊純一、相原智之、徳野善彦、峯真太郎、中泉剛士、吉本秀之) は (公財) 日本武道館に対し深く感謝と御礼を申し上げます。

日本時間 11 月 6 日 (水) 9:00 に成田空港第 2 ターミナルの 4 階特別待合室にて行われた結団式・壮行会は、臼井日出男 (公財) 日本武道館理事長の壮行の言葉、団長の高村正彦 (公財) 日本武道館・日本武道協議会会長の挨拶、各団体の紹介、乾杯、歓談を行い、和やかな雰囲気と程良い緊張感の中、日本武道館関係者のお見送りをいただきながら成田空港を出発、フィンランドヘルシンキ国際空港を経由し約 10 時間のフライト後の現地時間 11 月 6 日 (水) 18:30 にウィーン国際空港へ到着しました。

オーストリア共和国は国土面積 8 万 4 千平方キロメートルで北海道と同じくらいの広さであり、北緯約 42 度の稚内よりも北に位置し、人口約 880 万人、そのうち『音楽の都』として有名な首都ウィーンには約 4 分の 1 の 190 万人が住むということです。時差はマイナス 8 時間、到着時の気温は約 14℃でこの時期の気温としては暖かい方であるとのことでした。

11 月 7 日 (木) より活動を開始し、この日はウィーン日本人国際学校において武道交流演武会を午後から行いました。空手道は峯・中泉 (剛柔流形クルルンファ・セーサン)、渡邊・吉本 (和道流基本組手)、相原・徳野 (松濤館流立捕り) の 6 名全員にて 6 分間の演武を行い、演武後に行われたワークショップでは沢山の生徒が空手の体験に参加し、基本の突き・受け・蹴りを行いました。同校生徒の皆さんと会話をしながら、我々も楽しく体験会を終えることが出来ました。

夜は日本大使公邸において歓迎レセプションが催され、小井沼紀芳在オーストリア大使より歓迎のご挨拶、乾杯の後、あたたかいおもてなしを受け、他の参加武道団体との交流も深めながら賑やかなひと時を過ごしました。

11 月 8 日 (金) は、A 班 (団長・副団長・各武道責任者) は市内視察とスポーツ省への表敬訪問、B 班 (演武者) は国立スポーツセンターにおいて武道セミナーとワークショップを行うグループに別れました。セミナーでは、剣道の長尾進先生による「日本武道の文化について」の講演が行なわれた後、各団体の演武が行われ、空手道は峯・中泉 (剛柔流形サンセール・シソーチン)、相原・徳野 (松濤館流立捕り) の 4 名による 6 分間の演武を披露いたしました。

終了後のワークショップでは、どの武道も終了時間が過ぎても参加者が帰らない程の人気でありました。

11月9日（土）は、オーストリア空手道連盟の方々との交流稽古を行い、中泉・相原両名により準備運動・基本錬成の後、松濤館流約60名（相原・徳野）、剛柔流約20名（峯・中泉）、和道流約10名（渡邊・吉本）に別れて基本、形、組手稽古を行い、参加者の熱意が溢れる交流稽古となりました。

終了後は懇親会の招待を受け、互いの友好を深めながら空手道が初の実施となる来年の東京2020五輪での再会を誓いました。

11月10日（日）は、エルステ・バンク・アリーナにおいて、武道演武大会を行い、8分間の演武とワークショップを行いました。会場は大型スクリーンが用意され、続々と集まってくる観客に任務の大きさを再認識した6名でありました。始めに両国国家斉唱の後、高村団長、オーストリア公務スポーツ大臣、小井沼在オーストリア日本大使の挨拶の後、演武大会が開始されました。参加された9武道団体と3流派の皆様方の演武はどれも素晴らしく、私達6名も驚くばかりでした。会場の割れんばかりの拍手の中、身の引き締まる思いで8分間の演武を無事披露することが出来ました。その後のワークショップでは空手道衣が用意され、参加者が着用して基本の突き・受け・蹴りを体験してもらいました。参加者にもとても喜んでいただき、次々に記念写真撮影を求められ、改めて空手道の発信力の素晴らしさを認識し、さらに技を磨き精進していかなければと思いを新たにいたしました。

終了後にホテルで行われたフェアウエルパーティーでは、高村団長や来賓の方々から感謝と労いのお言葉をいただき、剣道・柔道・空手道よりワークショップで使用した道衣、竹刀を地元の各連盟へ贈呈いたしました。団員全員が演武大会を成功裏に終え、重責を果たした充実感で会は大いに盛り上がりました。

11/11（月）の夜に解団式が行われ、6日間の派遣武道代表団の活動を無事終了いたしました。歓談中には副団長の弘友和夫（公財）日本武道館理事より、空手道の峯団員が本日（日本時間で11/12）に誕生日を迎えた事がサプライズで発表され、全員でハッピーバースデーを合唱しお祝いするなど、和やかなムードでの解団式となりました。

最後に、令和元年度オーストリア派遣日本武道代表団は日程通りに滞りなく進み、空手道団員6名がケガや病気もなく無事に帰国することが出来ました事と、重ねましてこの機会を与えていただきました（公財）日本武道館に心より感謝を申し上げ、団員責任者としての報告とさせていただきます。

令和元年11月16日

空手道団員 責任者 渡邊 純一